

令和3年度の「肝炎週間」は、7月26日～8月1日です。 ～7月28日は、「世界肝炎デー」「日本肝炎デー」です！～

7月28日は、世界保健機構（WHO）が定める「世界肝炎デー」です。

WHOは、2010年に世界的レベルでのウイルス性肝炎の蔓延防止、感染予防、感染者に対する差別や偏見の解消を目的として決めました。

平成24年度から、厚生労働省は世界肝炎デーに合わせ、毎年7月28日を「日本肝炎デー」としています。

7月28日を含む月曜日から日曜日までを「肝炎週間」といい、肝疾患や肝炎ウイルスの感染予防に関して、全国で様々な啓発活動が行われています。

●肝臓とは？

肝臓は人体の中でも最大の臓器で、右腹部の肋骨の内側にあります。肝臓には、500を超える生命を維持するための機能があり、「代謝」「解毒」「貯蔵」「合成」の大きく4つの分野に分かれています。

●肝臓のニックネームは「沈黙の臓器」です。

肝臓は、知覚神経が通っていないため、よほど悪化しないと自覚症状が出現しません。

なかなか疲れがとれない、食欲がわかない、吐き気がする、急にお酒が弱くなった、体のあちこちがかゆいなどの症状はありませんか？これらの症状は、肝臓のSOSかもしれません。心当たりがある場合は、肝機能や脂肪肝の検査をしましょう。

●ウイルス性肝炎とは？

ウイルス性肝炎とは、肝炎ウイルスに感染し、肝臓の

細胞が壊れていく病気です。

肝がんの原因の80％は肝炎ウイルスです。

放置すると、肝炎→肝硬変→肝臓がんへと重症化が進みます。

●肝炎ウイルスを受けたことがありますか？

朝日町では、肝炎の早期発見・早期治療を目的として、健康増進法に基づき肝炎ウイルス検査を実施しています。

これまで肝炎ウイルス検査を受けたことがない方は、この機会に受診してください。



対象者：今年度40歳～70歳になる方（S26.4.2～S57.4.1生まれ）で、肝炎ウイルス検査を受診したことがない方
※40歳になる方（S56.4.2～S57.4.1）は個別に通知いたします。
※それ以外の年齢の方は、子育て健康課窓口までお問い合わせください。

検査内容：HBs抗原検査、C型肝炎ウイルス検査（血液検査）

検査料金：無料

実施期間：7月1日（木）～11月30日（火）

実施場所：四日市および三重郡内の指定医療機関

7月は、「愛の血液助け合い運動」月間です！ ～行ってみよう 少しの勇気で 救える命～

厚生労働省、都道府県、日本赤十字社が主催となり、国内の血液事業を安定的・継続的に維持すること、血液製剤の自給を確保することを目的に、毎年7月に「愛の血液助け合い運動」月間を実施しています。

♥献血を呼びかける理由は？

多くの患者さんの病気やけがの治療に使われている血液製剤は、血液から作られています。血液は人工的に作ることができず、長期間保存することもできません。また、献血者の健康を守るため、1人あたりの年間の献血回数や献血量には上限があります。そのため、安定的に血液製剤を届けるためには、多くの方の協力が欠かせません。

♥少子高齢化の影響

少子化により献血可能な人口が減少している中、特に10代～30代の献血者が減少しています。若い世代の方々のご協力が重要です。

※検査を目的とした献血はご遠慮ください。エイズウイルスや肝炎ウイルスの感染初期には、最新の検査技術を用いても検出できない期間があります。

感染検査を希望される場合は、保健所または、かかりつけの医師にご相談ください。

♥日本赤十字社ホームページ

お近くの献血ルームや献血バスの運行状況など、献血できる場所を探せます。

<https://www.jrc.or.jp/donation/> (R3.6.10)

♥厚生労働省 「愛の血液助け合い運動」

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_05321.html (R3.6.10)

